

2021年10月26日  
エムスリー株式会社

**No.1 クラウド電子カルテ「エムスリーデジタル」の導入件数が3,000件を突破  
～ 「エムスリーデジタルスマート診療」の提供とあわせ、医療現場のDXをさらに加速～**

エムスリー株式会社（本社：東京都港区 代表取締役：谷村 格、URL：<https://corporate.m3.com/>以下「エムスリー」）は、グループ会社のエムスリーデジタル株式会社（所在地：東京都港区 代表取締役：尾崎 郁雄、URL：<https://digikar.co.jp/>）が提供するクラウド電子カルテ「エムスリーデジタル」の導入件数が3,000件を突破したことをお知らせいたします。

クラウド電子カルテシェア No.1 の「エムスリーデジタル」は、テクノロジーを活用して、クリニックの診療をラクにすることを目指しています。AIによる独自の自動学習機能や、iPad を利用し紙カルテのように記載できるアプリ等を提供し、簡単に入力できる使いやすさと安価な料金が、高く評価されています。

日本の医療において、クリニックの環境も変化しています。より良い医療の実現や医療費削減の観点や、訪問診療・地域包括ケアの実現に向け、単一施設に閉じた医療ではなくクラウド電子カルテが果たす役割が大きくなっていると同時に、クリニックだけでなく訪問先や自宅でもクラウド環境で電子カルテ・レセプトを確認したい等、その便利さからも、クラウド電子カルテを選択するケースが増えています。

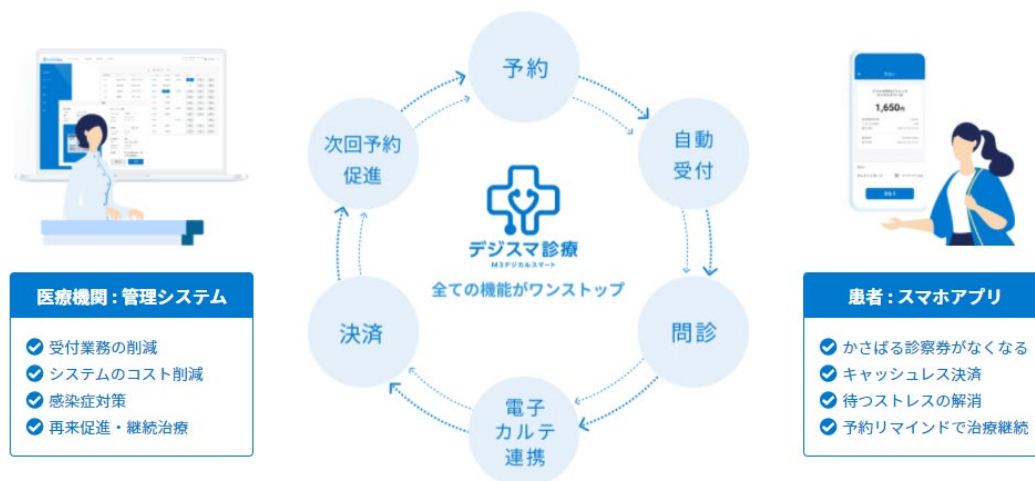
「エムスリーデジタル」で実現された診療はのべ7,000万人分に迫り、日々、多くの診療で活用されています。クリニックを取り巻く経営環境が変化する中、「エムスリーデジタル」はさらなるサービス改善に取り組んでいきます。

医療現場のデジタル化は、電子カルテの分野に留まりません。今般、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、オンラインを活用した診療や服薬指導の推奨など、医療を取り巻く環境でデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）の動きが加速しています。エムスリーデジタル株式会社は、クリニックのDX化支援をさらに推進するべく、予約、問診、キャッシュレス決済などクリニックで必要な機能を集約・ワンストップ化したクラウドサービス「エムスリーデジタルスマート診療」の提供を2021年10月に開始しました<sup>1</sup>。「エムスリーデジタルスマート診療」はクラウド型電子カルテ「エムスリーデジタル」と連携し、電子カルテを中心に、予約から当日の

<sup>1</sup> [2021年4月22日にプレスリリースを行った「エムスリーデジタルスマート支払い」](#)を基盤に、さらに機能を強化し「エムスリーデジタルスマート診療」として提供を開始しております。

受付、問診、決済、次回予約まで、シームレスな診療プロセスを実現可能です。

エムスリーグループは、医療業界全体の生産性向上に寄与するべく、DX 支援を推進し、今後もその範囲を拡大してまいります。



【クラウド電子カルテ「エムスリーデジタル」概要】

<https://digikar.co.jp/>

【医療機関向けクラウドサービス「エムスリーデジタルスマート診療」概要】

<https://digikar-smart.jp/doctor>